

## 第2評価グループ 評価調書

### 第2評価グループ

奥田達夫、荒木勇、田中祥子、  
牧田和樹

## 5 地域交通対策費

### 事業概要

#### J R小杉駅サービスセンター運営費

市民及び地域公共交通利用者の利便を図るため、J R小杉駅に南口改札、待合所及びトイレを備え、観光、イベント及び求人情報の提供等を行うサービスセンターを設置する。

#### J R小杉駅サービスセンター運営振興会補助金

公共交通利用者の利便性を確保し、地域交通の発展に寄与するため、射水市シルバー人材センター、小杉地域振興会連合会、射水市商工会、アル・プラザ小杉及び射水市で構成し、西日本旅客鉄道株式会社（J R西日本）の委託を受けJ R小杉駅南口改札等業務や乗車券、定期券等の販売業務を行うJ R小杉駅サービスセンター運営振興会に対し補助金を交付する。

### 委員の主な意見

南口改札業務は今後とも必要となろうが、駅業務は、北陸新幹線開業に伴いJ Rから経営分離される区間を運営する第三セクター会社が担当することになるので、強く市から交渉してほしい。

将来的には民間を活用して簡単なコンビニのようなものを設置し、その店員が改札業務を行うことも可能である。

サービスセンター施設そのものは利用者の利便性確保のため必要であろうが、現状では情報提供のために人員を配置する必要はなく、不具合発生時の対応は改札員を活用すれば足りるのではないかと。

今後、並行在来線運営第三セクター会社との交渉やサービスセンターの機能の見直しに当たっては、まず利用者の意見を聞くことが一番大切であろう。

### 評価案

南口改札口や待合室等の必要性は十分認められるが、情報提供などの運用部分については役割を終えたと思われる。

このため、南口を利用する市民の意見も参考に、必要機能を整理し、サービスセンターの抜本的な見直しを図るとともに、北陸新幹線開業後、駅業務を担当する並行在来線第三セクター会社に、利用者の利便性確保、向上を強く働き掛けられたい。

## 6 環境衛生対策費

### 事業概要

排水事情の悪い新湊地区沿岸部の害虫発生の阻止及び港湾部の船舶に付いて住宅街へ侵入を図る害虫を防除するため、庄西、新湊、放生津、堀岡及び海老江地区において年2回の薬剤散布を実施する。

### 委員の主な意見

地域振興会による実施について、協議されたが、快諾されなかったとのこと。地域に移管しても、結局誰もしないということになる恐れがあるようだ。

インフラ整備と表裏であり、この事業単独での評価はなかなかできない。

新湊地区の排水事情が悪いという特殊事情を考慮した場合、他の地域のアメリ口防除のように薬剤費用を地域である程度負担してもらいやり方はトータルで考えると難しい。

公平よりも公正であるべき。

### 評価案

現行どおり実施されたい。

なお、当該事業の必要性が主に地域の排水事情にあるならば、長期的な視点に立ったインフラ整備も視野に、排水環境の改善について検討されたい。

## 7 ふれあいサロン運営費

### 事業概要

高齢者の連帯意識を高揚するとともに、健康保持及び認知症防止並びに孤独感の解消を図るため、高齢者同士の団らんの場を提供し各種趣味講座の開催などを行うふれあいサロン（新湊中央ふれあいサロン、新湊南部ふれあいサロン、小杉中央ふれあいサロン、いきいきサロン大門、大島憩いのサロン）を設置する。

### 委員の主な意見

旧市町村からのしがらみを絶ち、現実に即した設計書を組むべき。

講座開催に人員が要るのであれば、その時に移動すればよいのであって、配置を固定しておく必要はない。

委託先の選定については、他にも引き受けられる事業者があるのではないかと。また、随意契約ではなく入札にして、委託先を1つにし、事業者が柔軟な人員配置などができるようにすればよいのではないかと。

利用者の少ない新湊南部ふれあいサロンは、現状のままというわけにはいかないであろう。

ふれあいサロンが近辺にないエリアとの公平性の観点から、最小限度の利用者

負担を求めてもよいのではないか。その結果、利用者が減った場合はこのような大規模施設を廃止（縮小）し、小規模な場所を増やして利用者負担を求めて実施すればどうか。

#### 評価案

利用者の少ない新湊南部ふれあいサロンについては、抜本的な見直しを検討されたい。

その他のサロンについては、事業内容や利用実態に見合った柔軟な人員配置を考えるとともに、事業者の参入機会を確保するため、競争入札の導入について検討されたい。

また、サロンが設置されていない地域や非利用者との公平性を考慮し、一定の利用者負担を求めることも検討されたい。

## 8 高齢者労働能力活用事業費

#### 事業概要

高齢者の労働能力の活用及び生きがいと健康保持のため、高齢者の就業に関する情報収集と提供及び就業に必要な知識、技術の講習会等を実施する公益社団法人射水市シルバー人材センターに対し補助金を交付する。

#### 委員の主な意見

できるだけ単独での黒字化を目指してほしい。

高齢化が進んでいるにもかかわらず、会員が増えていない現状についてよく考えてほしい。定年延長が進めば、もっと大変なことになる。

「収益事業」と「高齢者の生きがい」のどちらの方向に向かうかの岐路に立っていると思う。

会員は仕事に対して責任を持つ必要がある。

会員によってスキルに波が有り過ぎると、発注側もやりづらいのではないか。

#### 評価案

シルバー人材センターの在り方や役割について議論を促されたい。

その上で、事務手数料の改定や人件費の削減など、自助努力による経営改善を強く求め、県内で上位にある市の補助金額の削減に努められたい。